



# とうめい news

2025.6.1  
Vol. 286

〒248-0034 厚木市船子237  
TEL. 046-229-3377  
発行 者: 河野 昌史  
編集責任者: 佐藤 賢治  
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

## 6月の花 エゴノキ

春の新緑、初夏の花、夏から秋の結実と、春から秋まで美しい姿を見られる庭木です。さらに株立ちは華奢で軽やかな樹形が美しく、直径2～2.5cm程度の小さな白い花を枝から下げるように咲かせます。実の果皮には、エゴサポニンという有毒成分が含まれています。

## 骨粗鬆症骨折に対する手術的加療

脊椎専門外来：  
和田 圭司

# TOPICS

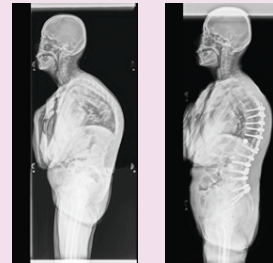
骨粗鬆症は、60歳代頃から脊椎の骨折が増え始め、75歳以上で急激に増加します。脊椎が骨折すると痛みだけでなく、脊椎の変形が起こり、日常生活に重度の障害を来します。骨折は早期に適切に治療しないと、徐々に重症の変形となり、大きな手術が必要になってしまいます。

骨折早期で変形が軽度の場合は経皮的椎体形成術（バルーンカイトプラスティ：BKP）で治療が可能です。この手術は全身麻酔ではありますが、5mm程度の創を2カ所つけて、15分程度で終了します（図1）。

手術翌日でも退院可能です。さらに初期の骨折が重症型ですと、BKPにスクリューを追加で使用して固定術を行います。この手術も45分程度で終わり、出血もほとんどしません（図2）。ここまでが早期に治療できた場合の手術になりますが、早期に適切な治療が行われなかった場合は、手術による体へのダメージが大きくなります。特に骨折に伴う変形が起こってくると、いわゆる腰曲がりの状態となります。この状態になると、胸部または腹部から脊椎の骨を切除して柱となるケージを挿入し、後方からスクリューで固定する手術になります（図3）。

この手術は4-5時間かかり、輸血が必要になることもあります。さらに重症型はもともと脊椎が曲がっていて、さらに骨折が加わることで、脊椎全体に渡って変形する状態です。こうなると脊椎全体の並びを改善しないといけなくなるので、2回に分けて手術することになります。1度目は腹部からインプラントを入れて、ある程度矯正し、その5日から7日後に背中から多くのインプラントを入れて矯正することになります（図4）。

図4



脊椎全体に渡っての変形を矯正する手術

この手術を行うと、脊椎の形は良くなりますが、背骨が曲がりにくくなるので、靴を履く、爪を切る等の動作がやりにくくなります。

一つでも脊椎が折れた経験がある患者さんの多くは、重症骨粗鬆症に分類されます。重症骨粗鬆症の方には、骨を急速に強くする骨形成促進剤による治療が強く勧められます。脊椎が数多く骨折すると、背骨が変形して背中が丸く盛り上がった状態になります。こうなると手術も大きくなり体の負担も大きいため、このような変形を起こす前に、早期に適切な治療をすることが重要と考えます。自分の骨粗鬆症治療に不安がある、骨折による変形、痛みがあるようなら、脊椎専門外来を一度受診してみてもいいでしょうか。



図1

BKP手術後

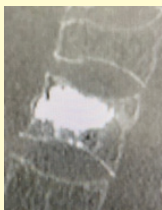


図2

BKPにスクリューを使用した固定術



図3

高度の変形に対する、矯正術

